

脳卒中急性期患者受入可能な体制数と脳血管疾患傷病者搬送人員との比較 (圏域別)

平成20年10月6日現在

目次

東京消防庁救急隊の出場先住所(二次保健医療圏)別 脳血管疾患傷病者搬送人員(平成19年)	1ページ	西多摩	11ページ
t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数 (圏域別総括表)	2ページ	南多摩	12ページ
t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は 行っている体制数(圏域別総括表)	3ページ	北多摩西部	13ページ
区中央部	4ページ	北多摩南部	14ページ
区南部	5ページ	北多摩北部	15ページ
区西南部	6ページ		
区西部	7ページ		
区西北部	8ページ		
区東北部	9ページ		
区東部	10ページ		

東京消防庁救急隊の出場先住所(二次保健医療圏)別 脳血管疾患傷病者搬送人員(平成19年)

二次保健医療圏	患者数	二次保健医療圏	患者数
区中央部	2,390人	西多摩	775人
区南部	2,037人	南多摩	2,334人
区西南部	2,033人	北多摩西部	1,162人
区西部	2,476人	北多摩南部	1,762人
区西北部	3,621人	北多摩北部	1,074人
区東北部	3,164人	多摩合計	7,107人
区東部	2,990人	区部 + 多摩合計	25,818人
区部合計	18,711人		

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。

脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。

くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等 高血圧脳症 その他の脳血管疾患

初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等(「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等)であった場合、集計不能であるため計上していない。

t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数(圏域別総括表)

確保枠数別内訳

二次保健医療圏		A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)	56枠	55~ 46枠	45~ 36枠	35~ 26枠	25~ 16枠	15~ 6枠	5枠~ 1枠	合計
区中央部	体制数	212枠	144枠	110枠	5施設	0施設	1施設	3施設	2施設	1施設	1施設	13施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	66人	66人	53人								
区南部	体制数	150枠	144枠	116枠	8施設	0施設	0施設	0施設	1施設	0施設	0施設	9施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	57人	57人	45人								
区西南部	体制数	200枠	152枠	108枠	5施設	0施設	3施設	2施設	0施設	0施設	0施設	10施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	56人	56人	45人								
区西部	体制数	232枠	208枠	133枠	7施設	1施設	2施設	1施設	1施設	0施設	0施設	12施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	68人	68人	55人								
区西北部	体制数	180枠	124枠	112枠	5施設	1施設	1施設	1施設	1施設	0施設	0施設	9施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	100人	100人	80人								
区東北部	体制数	140枠	94枠	74枠	4施設	0施設	1施設	1施設	1施設	0施設	0施設	7施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	87人	87人	70人								
区東部	体制数	182枠	130枠	116枠	5施設	1施設	1施設	1施設	1施設	0施設	1施設	10施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	83人	83人	66人								
西多摩	体制数	80枠	38枠	24枠	1施設	0施設	1施設	1施設	1施設	0施設	0施設	4施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	22人	22人	18人								
南多摩	体制数	176枠	142枠	108枠	6施設	0施設	1施設	1施設	1施設	0施設	0施設	9施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	65人	65人	52人								
北多摩西部	体制数	78枠	60枠	48枠	2施設	1施設	0施設	0施設	1施設	0施設	0施設	4施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	33人	33人	26人								
北多摩南部	体制数	80枠	80枠	64枠	4施設	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	4施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	49人	49人	39人								
北多摩北部	体制数	92枠	56枠	38枠	1施設	1施設	0施設	2施設	1施設	0施設	1施設	6施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	30人	30人	24人								
合計	体制数	1,802枠	1,372枠	1,051枠	53施設	5施設	11施設	13施設	11施設	1施設	3施設	97施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	716人	716人	573人								

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数(圏域別総括表)

確保枠数別内訳

二次保健医療圏		A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)	56枠	55~ 46枠	45~ 36枠	35~ 26枠	25~ 16枠	15~ 6枠	5枠~ 1枠	合計
区中央部	体制数	160枠	184枠	142枠	7施設	0施設	2施設	0施設	1施設	0施設	0施設	10施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	66人	66人	53人								
区南部	体制数	16枠	10枠	4枠	0施設	0施設	0施設	1施設	0施設	0施設	0施設	1施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	57人	57人	45人								
区西南部	体制数	76枠	32枠	36枠	0施設	0施設	2施設	1施設	2施設	0施設	0施設	5施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	56人	56人	45人								
区西部	体制数	48枠	69枠	59枠	2施設	0施設	1施設	0施設	1施設	1施設	1施設	6施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	68人	68人	55人								
区西北部	体制数	20枠	24枠	32枠	0施設	0施設	2施設	0施設	0施設	0施設	0施設	2施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	100人	100人	80人								
区東北部	体制数	68枠	35枠	10枠	0施設	1施設	0施設	2施設	0施設	1施設	1施設	5施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	87人	87人	70人								
区東部	体制数	120枠	132枠	89枠	4施設	1施設	1施設	0施設	1施設	1施設	0施設	8施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	83人	83人	66人								
西多摩	体制数	40枠	30枠	22枠	1施設	0施設	1施設	0施設	0施設	0施設	0施設	2施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	22人	22人	18人								
南多摩	体制数	80枠	60枠	44枠	2施設	0施設	1施設	1施設	0施設	0施設	0施設	4施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	65人	65人	52人								
北多摩西部	体制数	20枠	4枠	2枠	0施設	0施設	0施設	1施設	0施設	0施設	0施設	1施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	33人	33人	26人								
北多摩南部	体制数	20枠	20枠	16枠	1施設	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	1施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	49人	49人	39人								
北多摩北部	体制数	94枠	66枠	50枠	2施設	0施設	1施設	2施設	0施設	0施設	0施設	5施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	30人	30人	24人								
合計	体制数	762枠	666枠	506枠	19施設	2施設	11施設	8施設	5施設	3施設	2施設	50施設
	脳血管疾患傷病者搬送人員	716人	716人	573人								

区 中 央 部

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）

平成19年総数

月平均(28日)

2,390人

x

28日

/

365日

=

184人

x 20 / 56

x 16 / 56

t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
212枠	144枠	110枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
66人	66人	53人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
5施設	0施設	1施設	3施設	2施設	1施設	1施設	13施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
160枠	184枠	142枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
66人	66人	53人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
7施設	0施設	2施設	0施設	1施設	0施設	0施設	10施設

全数	回答数	回答率
20	20	100.00%

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。

区 南 部

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）

平成19年総数 → 月平均(28日)

$$2,037人 \times 28日 / 365日 = 157人$$

$$\times 20 / 56$$

$$\times 16 / 56$$

t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
150枠	144枠	116枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
57人	57人	45人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
8施設	0施設	0施設	0施設	1施設	0施設	0施設	9施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
16枠	10枠	4枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
57人	57人	45人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
0施設	0施設	0施設	1施設	0施設	0施設	0施設	1施設

全数	回答数	回答率
20	19	95.00%

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。

区 西 南 部

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）

平成19年総数 → 月平均(28日)

$$2,033人 \times 28日 / 365日 = 156人$$

$$\times 20 / 56$$

$$\times 16 / 56$$

t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
200枠	152枠	108枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
56人	56人	45人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
5施設	0施設	3施設	2施設	0施設	0施設	0施設	10施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
76枠	32枠	36枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
56人	56人	45人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
0施設	0施設	2施設	1施設	2施設	0施設	0施設	5施設

全数	回答数	回答率
33	31	93.94%

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。

区 西 部

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）

平成19年総数 → 月平均(28日)

$$2,476人 \times 28日 / 365日 = 190人$$

$$\times 20 / 56$$

$$\times 16 / 56$$

t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
232枠	208枠	133枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
68人	68人	55人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
7施設	1施設	2施設	1施設	1施設	0施設	0施設	12施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
48枠	69枠	59枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
68人	68人	55人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
2施設	0施設	1施設	0施設	1施設	1施設	1施設	6施設

全数	回答数	回答率
25	24	96.00%

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。

区 西 北 部

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）

平成19年総数 → 月平均(28日)

$$3,621人 \times 28日 / 365日 = 278人$$

× 20 / 56 × 16 / 56

t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
180枠	124枠	112枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
100人	100人	80人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
5施設	1施設	1施設	1施設	1施設	0施設	0施設	9施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
20枠	24枠	32枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
100人	100人	80人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
0施設	0施設	2施設	0施設	0施設	0施設	0施設	2施設

全数	回答数	回答率
44	39	88.64%

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。

区 東 北 部

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）

平成19年総数 → 月平均(28日)

$$3,164人 \times 28日 / 365日 = 243人$$

$$\times 20 / 56$$

$$\times 16 / 56$$

t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
140枠	94枠	74枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
87人	87人	70人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
4施設	0施設	1施設	1施設	1施設	0施設	0施設	7施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
68枠	35枠	10枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
87人	87人	70人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
0施設	1施設	0施設	2施設	0施設	1施設	1施設	5施設

全数	回答数	回答率
34	31	91.18%

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。

区 東 部

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）

平成19年総数 → 月平均(28日)

$$2,990人 \times 28日 / 365日 = 230人$$

$$\times 20 / 56$$

$$\times 16 / 56$$

t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
182枠	130枠	116枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
83人	83人	66人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
5施設	1施設	1施設	1施設	1施設	0施設	1施設	10施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
120枠	132枠	89枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
83人	83人	66人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
4施設	1施設	1施設	0施設	1施設	1施設	0施設	8施設

全数	回答数	回答率
31	29	93.55%

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。

西 多 摩

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）

平成19年総数 → 月平均(28日)

$$775人 \times 28日 / 365日 = 60人$$

× 20 / 56 × 16 / 56

t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
80枠	38枠	24枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
22人	22人	18人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
1施設	0施設	1施設	1施設	1施設	0施設	0施設	4施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
40枠	30枠	22枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
22人	22人	18人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
1施設	0施設	1施設	0施設	0施設	0施設	0施設	2施設

全数	回答数	回答率
7	6	85.71%

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。

南 多 摩

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）

平成19年総数 → 月平均(28日)

$$2,334人 \times 28日 / 365日 = 180人$$

$$\times 20 / 56$$

$$\times 16 / 56$$

t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
176枠	142枠	108枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
65人	65人	52人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
6施設	0施設	1施設	1施設	1施設	0施設	0施設	9施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
80枠	60枠	44枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
65人	65人	52人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
2施設	0施設	1施設	1施設	0施設	0施設	0施設	4施設

全数	回答数	回答率
24	23	95.83%

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。

北 多 摩 西 部

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）

平成19年総数 → 月平均(28日)

$$1,162人 \times 28日 / 365日 = 90人$$

$$\times 20 / 56$$

$$\times 16 / 56$$

t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
78枠	60枠	48枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
33人	33人	26人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
2施設	1施設	0施設	0施設	1施設	0施設	0施設	4施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
20枠	4枠	2枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
33人	33人	26人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
0施設	0施設	0施設	1施設	0施設	0施設	0施設	1施設

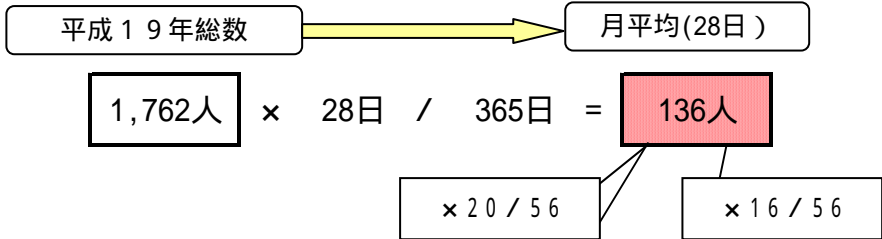
データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。

全数	回答数	回答率
14	13	92.86%

北 多 摩 南 部

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）



t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
80枠	80枠	64枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
49人	49人	39人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
4施設	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	4施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
20枠	20枠	16枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
49人	49人	39人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
1施設	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	0施設	1施設

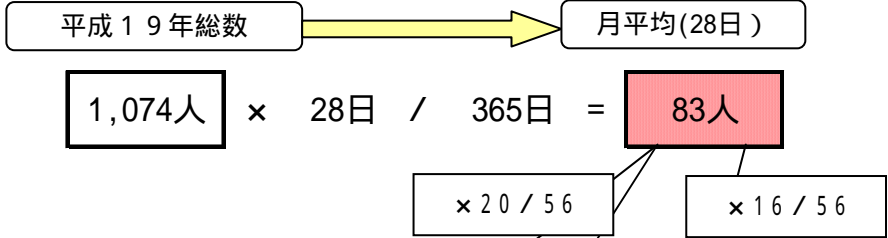
全数	回答数	回答率
15	12	80.00%

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。

北 多 摩 北 部

東京消防庁救急隊の出場先住所（二次保健医療圏）別
脳血管疾患傷病者搬送人員（平成19年）



t-PA治療も含め脳卒中急性期患者受入可能な体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
92枠	56枠	38枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
30人	30人	24人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
1施設	1施設	0施設	2施設	1施設	0施設	1施設	6施設

t-PA治療は行なわないが、脳卒中急性期患者受入は行っている体制数

A (平日日勤帯)	B (平日夜勤帯)	C (土日祝)
94枠	66枠	50枠
脳血管疾患傷病者搬送人員 時間帯按分		
30人	30人	24人

確保枠数別内訳

56枠	55~46枠	45~36枠	35~26枠	25~16枠	15~6枠	5枠~1枠	合計
2施設	0施設	1施設	2施設	0施設	0施設	0施設	5施設

全数	回答数	回答率
14	14	100.00%

データに関する特記事項

東久留米市、稲城市消防本部の救急隊の搬送人員は含まれていない。
脳血管疾患傷病者は、東京消防庁において統計分類している「初診時傷病名」が次に掲げるものであった傷病者を計上している。
くも膜下出血 脳出血 脳梗塞等 脳虚血等
高血圧脳症 その他の脳血管疾患
初診時傷病名が先に掲げたものに分類されない症状等（「意識障害」「頭痛」「片麻痺」「めまい」等）であった場合、集計不能であるため計上していない。